

許 諾 書

SAMPLE

20XX年 XX月 XX日

早稲田大学 総長 殿

下記の早稲田大学審査学位論文（博士）を、裏面の記載要件にしたがって、早稲田大学学内および学外に電子的手段によって公開することを許諾いたします。

研究科名：大学院 アジア太平洋研究科

氏 名： アジア太郎 印

現住所：〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早大西早稲田ビル 715

TEL. 03-5286-3877

E-MAIL gsaps@list.waseda.jp

論文題目（英文の場合は、和文も記載してください。）：

（和文）ここに題名を書いてください。題名は必ず学位申請書と、論文本体の
題名と一致させてください。

（英文）ここに題名を書いてください。題名は必ず学位申請書と、論文本体の
題名と一致させてください。

著者名：アジア太郎

主任審査員名：勝間 靖

公開の時期（特許申請等により学位論文本体の公開時期を延期したい場合は、その期日を指定してください。ただし、本体以外は無条件での公開となります。）：

年 月 日 以降に学位論文本体を公開

記

(公開の目的)

1. 早稲田大学(以下、「本学」という。)において審査し、学位を授与した論文資料を、電子的な手段によって蓄積し、本学をはじめ国内外に提供することにより、教育・学習活動を支援するとともに、研究活動の推進を図り、学術研究の一層の振興に貢献することを目的とする。

(データの利用方法)

2. 本学は、学位論文を電子化し(以下、電子化された情報を「データ」という。)、それらのデータを蓄積してデータベースを作成する。
3. データは、情報ネットワーク上の標準的なコンピュータ環境でアクセスできる状態におく。
4. データは、書誌的情報等により検索可能とする。

(データの利用条件)

5. 本学はデータの利用に際し、次の事項を遵守する。
a) 著作物及びその標題の表現を改変しないこと。ただし、第3条で規定した技術的環境において適切に表現できない部分は、省略又は他の代替物に置換する場合がある。
b) 著作者名及び著作権の表示を行うこと。
c) 利用者によるデータの複製(例えば、端末機からのプリントアウト又はダウンロード)は、調査研究、教育及び/又は学習を目的とする場合に限定することを明示すること。
6. データの送信範囲は、本学学内及び学外とする。
7. データの公開可能な範囲は、学位論文本体、論文概要書(論文要旨)及び審査報告書とする。ただし、これら以外の学位論文に関連するデータも公開に付す場合があり、その際は別途許諾の手続きを経ることとする。
8. データの利用についての対価は無償とする。
9. 本学は、利用者がデータを利用した結果について、その責任を負わない。

(著作物の利用許諾等)

10. 表面記載の公開許諾者(以下、「許諾者」という。)は、本学に対して、著作権法上の諸権利について著作物の利用を認める。
11. 許諾者と著作権者が異なる場合(例えば、著作権者が複数の場合又は当該学位論文に許諾者以外の者が開発したコンピュータ・プログラムが含まれる場合)は、許諾者はあらかじめ著作権者からの利用許諾を得ておく。
12. 当該学位論文の利用に際して第三者との紛争が生じることのないよう、許諾者はあらかじめ関係者との調整等を行っておく(例えば、当該学位論文がすでに他の出版者から公表されている場合)。

(利用許諾要件の変更)

13. データの利用許諾要件の変更を希望する場合は、許諾者はその理由を付して、利用許諾要件の変更を申請することができる。

(公開の解除)

14. データの公開の解除を希望する場合は、許諾者はその理由を付して、公開の解除を申請することができる。
15. データの公開に不適切な事実が認められた場合は、本学は解除の理由を付して、許諾者に公開の解除を通知することができる。

(その他)

16. この許諾書に記載されていない事項については、必要に応じて、許諾者及び本学が別途協議することとする。

以上